

令和4年6月28日



七郷幼稚園 担当：齋藤 舞

梅雨はまだ続いていますが、少しずつ暑くなる日々が夏の訪れを感じさせてくれます。前回の活動では感触遊びを行い、寒天を触って色が混ざる様子を眺めたり、様々な素材の感触に驚きや不思議さを感じたりしながら、手先を使って楽しむことができました。保護者様から、「ダイナミックに遊ぶ経験はなかなかご家庭では難しい」などと多くの話を伺い、幼稚園ならではの思い切った遊びができたのではないかと感じています。

今回で、1学期最後の活動になります。たくさんのご支援とご協力をいただきましてありがとうございました。2学期は、更に友達とのふれあいを楽しめるようにしたり、入園への期待や関心を深められるようにしたりしながら過ごしていきたいと思います。次回の活動日は、8・9月です。健康や安全に気を付けながら、楽しい夏をお過ごしください。2学期初回の活動内容や持ち物については、8月20日前後に、マチコミメールにてお知らせいたします。



夏休みに、お子様と一緒に家族で楽しめる遊びを紹介します！

前回大人気だった！！スライム☆☆

<材料>

- ・洗濯糊（PVA 入）…100均に売っています！
- ・水 ・お湯 ・絵の具や食紅
- ・ホウ砂 …ドラッグストアなどに売っています！
- ・空き容器（牛乳パックや紙コップ等）
- ・割りばし

- 1.洗濯糊と水（同量）を空き容器に入れる。
絵の具なども一緒に入れる。
 - 2.お湯（水の半量）にホウ砂を入れ溶けるよう、よく混ぜる。
 - 3.1と2をよく混ぜてできあがり♪
- ☆誤飲しないよう、ご注意ください。
☆洗濯糊やホウ砂の量で硬さが変化します！
お試しください♪

洗濯ばさみのおもちゃ☆☆

<材料>

- ・画用紙 ・洗濯ばさみ ・ペン

- 1.画用紙を動物や花などの好きな形に切る。
☆洗濯ばさみでタコの足、ライオンのたてがみなど、指の力を使ってくっつけてみましょう！
☆洗濯ごっこをしてみたり洗濯ばさみ同士をくっつけたりする体験は、想像力を養ったり手指の力を育んだりすることに繋がります♪



🌸 子ども達の「伝えたい！」スイッチ 🌸

言葉の育ち方は一人一人違います。しかし、子ども達の「伝えたい」という気持ちを育てるためには、どのようなことから始めたり、試したりしてみたらよいか子育ての中で気になることがたくさんあると思います。参考にしてみてください♪

※人と何かを共有するには、「三項関係」という仕組みが出来上がると、コミュニケーションが広がるそうです。三項関係がうまく働いて、言葉が育っていくには、3つのスイッチが入ることが大切です。

① 子どもの心が動く

「おもしろかった!」「こわい!」「びっくりしたよ」「たのしい!」など、心が動く体験をすると思わず、声を上げたくなる、表現したくなる。

② 体験を子どもと大人が共有する

「おもしろかったね〜」「こわいね〜」「たのしいね〜」など、と、表現を分かってあげる。子どもが表現したことを大人が共有することが、子どもの伝えたい気持ちを高めるきっかけになる。

③ 応答的環境がある

何かを表現したら返してくれる→通じたんだ!!と、子どもが分かると、自分の表現が通じた嬉しさを味わい、また表現したいと思えるようになる。

あくまでも参考ですが、誰かが寄り添ってくれる、認めてくれると子ども達は安心してとても嬉しい気持ちになります。しかし、あまりにも声を掛けすぎると、遊びが中断したりタイミングが悪かったりしてしまうかもしれません。子どもの心が動いたタイミングを見計らってたくさんのやりとりや触れ合いをしていくと良いですね!

<参考：NHK すくすく子育て情報>

♡ 第4回感触遊び おもいで ♡

